

コラムを読み解く(中学・国語)

()中学校()年()組 氏名()

南風録
インターネット黎明期の1998年、15歳が作詞作曲した歌がラジオから大ヒットしていく。今も第一線にいる宇多田ヒカルさんのデビュー曲だ▼創作は「歌詞が一番つらい」と明かしている。先に母音だけのメロディが浮かび、その音数に合わせて「本当に言いたい言葉を探す」という▼先月発表した新曲の一節が政治的だ話題を呼んだ。「令和何年になったらこの国で 夫婦別姓OKされるんだろう」。結婚に離婚、出産も経験した。デビュー前から進まない議論に言いたい何かがありそうだ▼28年ぶりに選択的夫婦別姓の法案が衆院で審議されている。ただ自民党の議論先送り方針もあって成立のめどは立っていない。国連や最高裁、経団連に促され、世論が賛成多数になっても進まない▼そもそも江戸庶民は「通称」で通っていた。明治になって欧米化の流れで戸籍ができ、制度を整えた。より国際化が進んだ今、法で夫婦同姓を縛る国は日本だけになった。反対派から「日本の伝統や家族の一体感」を背負わされるのは荷が重いのではないか▼9割が男性側の姓となる中、不自由さを訴える人たちがいる。放置された時間はあまりに長い。宇多田さんの新曲のタイトルは「Mine or Yours」。私のか、あなたのか。一方しか選べないか、それぞれ望む方を選んでOKか。お互いに優しい社会はどちらだろう。

2025年6月7日付1面

【問1】宇多田ヒカルさんはどのように曲を創作していますか。

先に母音だけのメロディーが浮かび、その音数に合わせて本当に言いたい言葉を探している。

【問2】5月に発表された宇多田さんの新曲のタイトルは何ですか。

「Mine or Yours」

【問3】2の曲で話題になっているのは、どのようなことですか。

「令和何年になったら この国で 夫婦別姓 OKされるんだろう」という一節があること。

【問4】 夫婦別姓を反対している意見として、何があげられていますか。

日本の伝統や家族の一体感

【問5】 「お互いに優しい社会はどちらだろう。」とありますが、夫婦別姓に対するあなたの考えを書きましょう。

* 習っていない漢字とむずかしい言葉の解説

黎明(れい・めい) = 明け方、夜明け。

比喩(ひ・ゆ)的に新しい時代・文化・芸術など、物事の始まり。

創作(そう・さく) = 文芸、絵画、音楽などを独創的に表現すること。または、その作品。

母音(ぼ・いん) = 「あ」行の5音。

夫婦別姓(ふう・ふ・べつ・せい) = 夫婦が同一の氏(姓)を名乗るのではなく、それぞれ婚姻(こん・いん)前の氏を称すること。

選択的・夫婦別姓 = 夫婦がどんな氏(姓)を名乗るか選べること。

庶民(しょ・みん) = 一般の人。大衆(たい・しゅう)。

通称(つう・しょう) = 世の中でふつうに使われている呼び名。

縛(しば)る

